

ITC総会及びティー・トレイド・ディナー出席報告

報告者 日本茶輸出組合 副理事長 谷本宏太郎

日時 2015年5月7日 11時から ITC総会開催
2015年5月7日 19時から 第86回ティー・トレイド・ディナー開催

会場 ITC総会 Carlton House Terrace 1
London SW1Y 5DB
ティーマンズディナー The Savoy Hotel
Strand, London WC2R 0EU

報告 ITC総会出席者

Dr Norman Kelly	Chairman
Mr Manuja Peiris	Chief Executive
Mr Mangat R Sharma	Tea Board of India
Mrs Sonali Wijeratne	Sri Lanka Tea Board
Mr Michael J Bunston	Sri Lanka Tea Board
Mr Ian Gibbs	Tea Association of Malawi
Mr Peter Goggi	Tea Association of the USA
Ms Barbara Dufrene	Tasses & Terroirs, France
Mr Kotaro Tanimoto	Japan Tea Central Association
Mr Mei Yu	China Tea Marketing Association
Mr Cheng Jun Bo	China Tea Marketing Association
Mr Wilson Liu	China Tea Marketing Association
Ms Asako Suzuki	World Green Tea Association

ITC総会議事

(1)議事録承認

(2)会費納入の報告

- a 2015年分 正会員 中国、インドネシア、マラウイ
準会員 ベトナム、ネパール、モザンビーク、広州茶葉交易中心、
ケニヤ・ティー・リサーチ基金、韓国紅茶協会

b 新規のコーポレート会員

Venus Tea Brokers Kenya, Hunan Denkai Co.Ltd., China, China Tea (Hunan) Co. Ltd.,
Asia Siyaka Co. Ltd., Sri Lanka, PT Bukit Sari, Indonesia & Reginald Ames UK

(3)会長副会長の選出

会長はDr. Norman Kellyが続投、副会長はMr. Ian Gibbsが任命され、承認された。

(4)第二副会長は順番によって選ばれ、今後12か月はインドネシア茶庁が選出された。

(5)辞任はありませんでした。

(6)報告すべき会議や茶業大会などは無い

(7)その他

a 事務所移転

大家から6月29日までに退去するよう求められている。現在の従業員2名を維持しロンドン市内に事務所を置かなければならない。コーヒーや砂糖のような国際商品の団体の事務所に間借りできないか調べたが、無理だった。

b 2015年3月に事務局長が中国を訪問した。

2年前の中国報告は2013年の内に16冊が300ポンドで販売されたが、今回の報告は素晴らしいものの2年前に比べて内容が少ないので販売は考えていない。

アメリカの高級茶を扱う非会員には中国の報告は興味があるだろう。アメリカ茶業組合員の非会員も含めて中国高級茶の報告書を作る価値はある。

アメリカの新しい規制によって2014年には中国緑茶のアメリカ向け輸出が減少して

以前に中国報告を購入した者に向けて、今話題となっている中国報告の追加版を販売することが決まった。

c 各国からの報告

マラウィ 天候不順のため収量が15%減少している。東アフリカ諸国の生産量が多いので販売に苦戦している。品種化が進んでいる。

インド アッサムの生産量は減少しているが西ベンガル地域は多い。南方ではケララが高収量でタミルナドゥが少ない。全体での収穫量は安定している。

小規模農家の集中化が進み、正確なデータ収集によって、生産量は現在知られている26%から30%に訂正されそうです。

輸出ではバルクでの扱いが少なくなってきた。

【アメリカ】 15%のシェアを持つ飲料と10%のシェアを持つ高級茶が船長を続けている。

紅茶はあらゆる産地からの輸入が増加している。見通しは明るく、世界第二位の茶輸入国になった。

【日本】 国内では飲料は高級茶も取り入れて成長を続けている。

輸出においては放射能問題は未だに残っていて、台湾は5月15日から日本からの輸入が禁止される。

CTC緑茶の研究が始まった。

静岡で次回のISO会議が開催される。

【フランス】 現在フランスでは高級茶嗜好が強まってきている。リーフ茶の市場は15%程度あり、この市場に国際的な大手業者が本格参入してきた。

【スリランカ】 年間輸出金額は16億ドルで、輸出への関心は依然として強い。収穫量の減少と人件費の高騰が気がかりではある。スリランカ各地やトルコから輸入している。主要10か国は2014年にもっとも大量に輸入した。世界的なキャンペーンの予算が確保できたため「ピュア・セイロン・ティー」のイメージが加速された。

昨年、ハロッズにおいて数人の有名クリケット選手を用いた2週間のキャンペーンが実施された。

今年はロンドンのIFE展示会にいくつかの輸出業者が出展し、スリランカ茶庁のためにギル・オブ・ファインフードの事業により「茶のマスタークラス」がロバート・ウィルソン氏によって決定される。

ウィジェラツネ女史とシャルマ氏は例月ロンドン赴任期間が満了になるので、これまでお世話になりましたと謝意を述べた。

【中国】 農業省と税関から得られたデータに基づく詳細な報告書が提出されました。

天候が良いので収穫時期が早まるだろう。2014年の収穫量は2,092,000万トンだったが、2015年には2,200,000万トンになると予想される。

生産コストは上昇している。国内ではインターネット通販が急上昇しているが、生産量が増加しているため輸出は安定していると想定されている。

年内に広東、広州、貴州、北京、上海で茶の大会が開催される。

【ケニヤ】 「Forum for the Future」のおかげで今年草々にケニヤを訪問することができ、東アフリカ地域の生産量増加がすべての生産者に影響を与えていることが確認できた。

ケリチョ州政府とKTDAの間で価格安定基金の設立について合意できないでいることが報告された。

農業生産法人組織も小規模農家もどちらも生産量が伸びている。

d その他

会長は「Forum for the Future」の現況報告として、問題は「市場メカニズム」、「持続可能な景色」と「消費者」の3分野に分かれている。ケニヤの生産機構が協調して先物相場が形成されることが希望となる。と述べた。

会長はベトナムで開催される「Responsible Business Leaders」会議に招待された。

会長は中国の河北省で11月に開催される会議に招待された。

「ロンドン茶歴史協会」と呼ばれる茶交易350年の歴史記録を顧みる団体がUKに結成された。

彼らは、聖キャサリンの造船所、植民地建築物、およびジョン・ライアン卿家で飾り額を組み立てることを提案している。

興味のある茶庁や茶業協会はこの団体と連絡をとって欲しい。ウェブサイトは以下の通り。

www.londonteahistory.co.uk

e 事務所移転

2015年5月15日までに進展があれば報告する。→ 報告が無いので、進展は無い。

8 次回の日程

2016年2月27日(金) 午前11時

第84回ティー・トレイド・ディナー

世界各地から400人を超える茶業者が年に一度集まる晩餐会なので、効率的に情報交換ができる。

今回は6月に世界緑茶協会がISO会議のホストとなるため、出席者に担当者の鈴木麻子さんを紹介することが主目的だったが、混雑のためできなかった。しかしながら谷本はISO会議出席者の数人と話をすることができた。



総会風景

